

# 「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先0282-22-7079(増田)

HP：太平山麓九条の会で検索

Eメール [oohirasanroku9jc@yahoo.co.jp](mailto:oohirasanroku9jc@yahoo.co.jp)



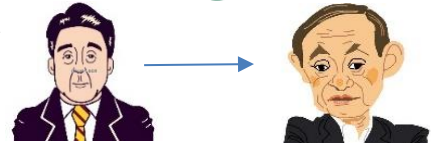
159号

2020年9月25日発行

## 安倍首相退陣＝菅新政権でも憲法破壊の動きが！

### 国会の動きに注視し、9条を守り生かす運動を進めよう！

安倍首相が病気を理由に退陣しました。病気が理由になっていますが、実際は、コロナ対策や河井夫妻の選挙違反・桜を見る会・公文書改ざんに絡む赤木さんの自殺問題など、世論の批判に追い込まれての退陣といったほうが正確かもしれません。



安倍政権の7年8か月を見てみますと、憲法破壊の政権といってもいい状況です。9条の会の世話人の一人、高遠菜穂子（イラク人道支援ワーカー）さんは、「**集団的自衛権容認、安保法制成立、武器輸出3原則の撤廃**。この7年8ヶ月で私が最も焦りと不安を感じたのは、海外メディアでも特に大きく報じられたこれら3つです。『平和主義から軍国主義へ』『平和主義を棄てた』といった見出しに衝撃を受けました。でも、これだけの難局にあって、憲法九条を守り切ったことは誇っていいのではないのでしょうか。全国に広がった『九条の会』のみなさんの働きのおかげだと思います。」と述べています。

### ◆憲法破壊の「敵基地攻撃能力保有」の阻止が課題に！



これからの運動としては、安倍退陣に当たり菅政権に引き継ぎを要請した「敵基地攻撃能力保有」の導入を阻止するための運動です。新政権になっても、憲法破壊の動きをやめない政権。これからも、それらの動きを監視していく必要があります。自民党総裁選に立

候補した岸田氏でさえ「現実問題、**先制攻撃は国際法違反**。着手の時期と言うのは国際法の世界でもいくつも論説がある。技術においても、実行可能なのか。」と問題点を指摘しています。

「膨大な費用が見込まれ、自衛隊の負担も増す。日本が防衛のためだと主張したところで、周辺国が警戒を強めれば、これからの政権の外交を制約してしまう。日本が憲法を形骸化させ、攻撃と防衛の境を越えて米軍との一体化を深めることで、安全を守れるのか。軍備に偏ることなく、外交を基礎とする独自の安保構想を描かなくてはならない。」との信濃毎日新聞の論説が9条を持つ日本の在り方ではないでしょうか。



### 「アベ政治を許さない」はまだつづく！

安倍首相が辞任会見をした後の九月三日、国会前で「アベ政治を許さない」が掲げられた。車いすの澤地久枝さんは「いままでの政治に批判のない次の内閣は許せない」と訴え、参加した落合恵子さんたちも発言、コメディアン松元ヒロさんは麻生太郎のモノマネで参加者を沸かせたという。

「アベ政治」って何か、憲法の番人「内閣法制局」の長官を安倍さんのお友だちにすげ替え、国会での一強をテコに、憲法を棚上げして政治を私物化してきたのが「アベ政治」。菅内閣はしっかり継承するという。

参加者たちが意見交換して、今後も抗議活動をつづけると確認した。安倍さんが政府から消えても「アベ政治」がつづくかぎり、三日の日に国会前で金子兜太さんの力強い文字を見る  
ことが出来るだろう（G記）



#### 訃報

長年、太平山麓九条の会の会長として活動を支えてくださった宝蓮寺斎藤昭俊住職の奥様が逝去されました。奥様は法蓮寺で開催された九条の会のイベントではピアノを弾いて参加して下さるなど、いろいろな面でお力添えいただきました。ご冥福をお祈りいたします。

# 菅政権と憲法



「自民党総裁選」のとき、TVを見ていたら、菅氏が「自助・共助・公助」と書いたフリップを持ち語っていた。

「自助・共助・公助、この国づくりを行っていきたい」「まず自分でできることは自分でやる、自分でできなくなったらまずは家族とかあるいは地域で支えてもらう、そしてそれでもダメであればそれは必ず国が責任を持って守ってくれる。そうした信頼のある国づくり…」何か変だ。

「自助・共助・公助」は防災の用語として広まったもの。憲法の精神は「全ての国民を、個人として尊重する。そのための仕組みを、公助で整える」ではないか！政治の仕事は、暮らしを良くする「公」の責任を果たす事。

「自助」や「共助」は、政治が押し付けるものではない。

菅氏は、憲法改正を巡る国会論議に向けて「政府として挑戦したい」とか「自衛隊の立ち位置というのが、憲法の中で否定をされている」「消費税の引き上げ」などと発言し、すぐに訂正に追い込まれている。（下線は筆者）

これは単なる失言とは思えない。安倍政治の継承を唱え、改憲に執念を燃やし、疑惑の再調査を否定して「負の遺産」をリセットする本音がみえる。

今こそ、「安倍改憲NO!」を実現した私たちの運動に自信を持ち、「自己責任論・新自由主義」をうちやぶり「菅改憲NO!」を！

日本国憲法の三原則＝「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」を掲げ、「福祉国家」の実現を！（玉田文男 記）

## テレビ番組 新聞記事から

### ◆「戦争動画集」を見て、

吉永小百合、坂本龍一、山田洋次の各氏がかかわって作成した「戦争動画集」がNHKプレミアムで放送されました。

吉永さんはこの数年戦争に関する朗読会開いています。そのため、彼女のもとに多くの体験談が寄せられているというのです。

今回の作品はその体験談をもとに、坂本さんの音楽、山田洋次さんの演出でドラマ仕立ての朗読劇が作成されました。

話は、全部で三話、二つが広島原爆にかかわる話。もう一つは悲惨な野戦病院から生還した沖縄のひめゆり隊の女学生の実話です。

それぞれ、心打たれましたが、切なかつたのは、加藤健一さんが被ばくした孫のためにミカンの缶詰を探し回るおじいさんになって演じた広島の話です。

何の罪のない幼い子供が命を失う、その子の最後の願いをかなえるため、

奔走するおじいさんの姿。そのおじいさんの願いを快くかなえた蒼井優さん演じる主婦の姿から、戦争の非情さと庶民の温かさを感じました。パソコンで検索すると、NHKオンデマンドで視聴できます。

### ◆憲法の口語訳にかかわった山本有三の記事を読んで

朝日新聞で三回にわたって、山本有三のことが取り上げられていた。憲法の前文、一条から九条までの口語訳にかかわったこと・「戦争放棄と日本」という一文があることなどが紹介されていた。

その一文で「**戦力はさっぱりと投げ出してしまつて、裸になることである。裸より強いものはないのである。なまじ武力なぞ持っておれば、痛くもない腹をさぐられる。それよりは、役にも立たない武力は捨ててしまつて、丸裸になるほうが、ずっと自由ではないか**」と述べている。まさに九条の精神を言い当てている。敵基地攻撃能力を持つとうなど、どう見ても憲法、九条違反である。（I・T記）

